

子ども図書研究室だより

2004.9.15 発行 NO.4

静岡県立中央図書館

<http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/>

紙芝居で育まれる「共感」

8月27日、グランシップ(静岡市)を会場に「静岡県読書推進フォーラム」が行われました。午前中は作家・大江健三郎氏による講演会が行われ、午後は、県内で活躍する読み聞かせグループ等によるワークショップと童心社取締役編集長・池田陽一氏による「紙芝居講習会」が行われました。

午後の講習会では読み聞かせにかかわる多くの方々、紙芝居の演じ方を学ぶとともに、しばし童心に返り、紙芝居の世界を楽しみました。

講師の池田氏と同じ「紙芝居文化の会」代表のまついのりこ氏は、雑誌『この本読んで』(2004春号)で次のように述べています。

紙芝居の形式は「後ろに文字がある」「抜いて差し込むことで進行する」もの。絵本の中に“入って”いくのとは大きく異なり、紙芝居の作者の心の世界が子どもたちのいる現実空間に“出てきて”広がります。そして、紙芝居独自の集中とコミュニケーションによって作家世界への共感が生まれ、心の交流が始まります。そのよこびで「共感」の感性が育まれます

また、山本武利氏(一橋大学大学院教授)は「紙芝居 街角のメディア」(吉川弘文館)の中で『街頭紙芝居』について次のように語っています。

…終了後、子どもはその日の感激を仲間と共有しつつ、明日以降の展開を語り合った。紙芝居はかれらを心情的に結びつける共感のメディアだったのである。

紙芝居はその特性から過去において国策に利用されたこともありました。第2次世界大戦後行われた「東京裁判」でも紙芝居は取り上げられました。当時日本紙芝居協会会長・佐木秋夫氏は証人として出廷し、「軍国主義紙芝居」の実演をし、軍国主義鼓舞の目的ははっきりしていたといっています。

昭和の時代、子ども達に大きな楽しみをもたらした「紙芝居」はテレビの登場と共に衰退していきました。しかし、今また、子ども達の共感とコミュニケーションを育むメディアとして多くの場に登場してきています。また、日本独自の文化でもある「紙芝居」は世界中に広がりつつあります。

参考文献

- 『紙芝居 街角のメディア』779.8 山本武利著(吉川弘文館)
『芸双書8 えとく』779(白水社)
『紙芝居 創造と教育性』779.8 子どもの文化研究所編(童心社)
『紙芝居昭和史』779.8 加太こうじ著(立風書房)
『紙芝居20年の歩み』379.3 子どもの文化研究所
『紙芝居100の世界』子どもの文化研究所:紙芝居研究会
779.8(椋の木社)
『紙芝居と戦争』779.8 櫻本富夫・今野敏彦著(マルジュ社)
(県立中央図書館所蔵 書名後ろの数字は請求記号)

所蔵資料紹介「正伝 野口英世」北 篤 著

今年の11月から新1000円札の肖像としてお目見えする野口英世(医学者、細菌学者)の伝記です。元は、英世の生誕百年(1976年)のうちに、地元福島の新報に連載されたものでしたが、のちに「郷土の研究シリーズ」としてまとめられ、翠楊社から1980年に出版されました。そして、2003年に毎日新聞社から装丁も新たによみがえったものです。英世と同じ風土で育ち、医師の家庭で育った筆者の視点は、題名に「正伝」とあるように、「一方的に美化することなく、事実の究明に時間をかけて彼の人間像を浮き彫りにする。」ことにあるようです。

英世は、貧農の家庭に生まれ、幼い頃に左手に大やけどをするという逆境にもめげず、持ち前の負けん気で猛烈に学問に打ち込み、世界に名だたる偉大な人物として評価されるまでになりました。しかし、英世には我々の持つ「聖人」のイメージとは全く異なる部分も多々あったようです。経済観念の不足がその一つです。(筆者は英世の金銭感覚の欠如を、「小原庄助さん」になぞらえ、生まれ故郷会津の精神風土から来るものとしてとらえています。)また、英世の元の名は「清作」といいましたが、坪内逍遙の『当世書生気質』に登場する「野々口精作」の墮落ぶりがあまりに自分と似ていることから、あわてて改名を恩師に依頼しました。この話も「聖人」のイメージとはかけ離れたものといえるでしょう。

筆者は最後に、「…正則の教育を受けなかったのに、二重に幸いしたのではないか。東大でも出たら、ドイツに留学し、アメリカには飛び出すまい。医学博士ぐらいになろうと、世界のノグチにはならなかつたらう。…幸い米国だから、あまり学歴を問題にしない。加えて研究費が多く、思い切りやれたのである。といって人間はひとりじゃ、どうにも動けない。小林栄、渡邊鼎、血脇盛之助、フレキシナーはじめ、実に人間関係に恵まれた。逆に、山内ヨネ子との恋に失敗しなかつたら臨床医になったことだろう。幸運と不運が実に効果的で、こう考えてくると、才能の開花は決して単純ではない。」と結んでいます。読み進めていく上での御参考に。

イベント・講習会情報

第7回全日本語りの祭り

期 日:平成16年10月2日(土)3日(日)

会 場:伊豆市修善寺総合会館・修善寺温泉各所

問い合わせ:修善寺図書館

電話0558-72-9868

宮西達也氏講演会

期 日:平成16年10月30日(土)

問い合わせ:掛川市立中央図書館

電話0537-24-5921